

錦糸町わくわく通信

2021.11
第35号

●お問合せ●
東都よみうり新聞社
TEL.03-6663-9010

青と白で「北斎」の世界を表現！ アルカタワーズ錦糸町イルミネーション

北口エリアの名物、発展する町並みに江戸文化や下町風情が融合するまち・錦糸町をイメージしたイルミネーションが今年も街一帯を輝かせます。北斎作品の「波」を連想させる青と白をテーマカラーに、様々な技術による動きのある演出が見どころです。



アルカイスト正面入口のイルミネーション(イメージ)。カーテンをデザインした電飾に江戸切子にも用いられる「七宝」文様が浮かび上がる



クリスマスツリーの周りにはゴボライトで日本の伝統文様が映し出され、和洋折衷の独特な空間を作り出す

【開催期間】2021年11月19日(金)～
2022年2月14日(点灯
時間は午後5時～9時)

【点灯場所】墨田区錦糸1～3丁目アルカタワーズ錦糸町地区(アルカイスト正面入り口、アルカキットステージと給気塔、北斎通り沿いの植栽ほか)

東武ホテルレバント東京

レバント・クリスマスリース・ワークショップ

ホテルのフローリストがアドバイスしながら進めるクリスマスリースの制作教室を開催します。ティータイムにはパティシエ特製のフルーツサンド付き。詳しくはホテル公式WEBサイトをご覧ください。



【日時】11月21日(日)
午前の部:10時30分～12時30分、
午後の部:2時～4時
【会場】東武ホテルレバント東京4F
【料金】大人7000円、子供4000円
※お子様にはリース制作キット
はつきません(税・サ込、クリスマ
スリース制作キット、ティータイム
のフルーツサンド、コーヒー付き)
【定員】各回50人
【申し込み】☎03-5611-5623

錦糸町テルミナ

11月28日に祝・60周年

錦糸町テルミナは1961年11月28日に「駅ビルきんし町」として現在のJR錦糸町駅南口にて開業し、2021年11月28日に60周年を迎えます。地域の皆さまに支えられた60年に感謝の想いを込め、各種イベントを開催します。

10%のプレミアム付き電子お買物券「TERMINAグルメPay」をはじめ、11月12日～28日まではテルミナ館内の各ショップで限定商品、限定メニューを用意するほか、記念抽選会、JREPOINT10倍&3倍感謝の6DAYS(11月23日～28日)なども実施します。また、

11月1日～28日は館内BGMがオールディーズになります。詳細は60周年特設ページへ!



記念冊子に残る開業当時の様子



J:COM番組「がんばれ錦糸町!河内音頭で盛り上がりろ!」を12月18日(土)午後6時から放送。錦糸町商店街振興組合が11月13日にニューノーマルで開催する「今年は、錦糸町で河内音頭!」(完全予約制で実施、募集終了)の様子を収録。(再放送:12月19日(日)/25日(土)/26日(日)午後6時～)

すみだトリフォニーホール演奏会情報

★パイプオルガン・クリスマス・コンサート2021

【日時】12月19日(日)

【第1回】0歳からのオルガン・コンサート

午前11時開演 ※休憩なし約45分
全席指定1000円、未就学児は無料(要座席券)

【第2回】しっかりじっくりオルガン・コンサート

午後3時開演 ※休憩なし約60分 全席指定1000円
未就学児入場不可(託児サービスあり)

【出演】梅干野安未(オルガン)、平野公崇(サクソフォン)、ほか

【チケット申込み】トリフォニーホールチケットセンター

☎03-5608-1212



オルガン演奏中の手元や足元を舞台上のスクリーンに投影

★宮川彬良 VS 新日本フィルハーモニー交響楽団

超! ジルベスター・コンサート2021→2022

【日時】12月31日(金) 午後3時開演 【出演】指揮・ピアノ: 宮川彬良、ほか

【チケット申込み】新日本フィル・チケットボックス ☎03-5610-3815

楽天地ビル 他

500円分のグルメ券プレゼント! グルメ3スタンプラリー

楽天地ビル、錦糸町PARCO、アルカイスト、カラムガーデン錦糸町の異なる3店舗の飲食店で税込600円以上ご利用の方に、対象店舗で使える500円分のグルメ券をプレゼント!

スタンプ押印期間: 11月 1日(月)~11月29日(月)

グルメ券引換期間: 11月22日(月)~11月30日(火)

グルメ券有効期間: 11月22日(月)~12月19日(日)

※グルメ券引換が10,000枚に到達次第終了

詳細は楽天地ビルホームページ

(<https://www.rakutenchi.co.jp>)へ。



錦糸町Worker 2nd 街を語る

※このコーナーは錦糸町で仕事をする方に街との関わりについて語ってもらいます。第2回目は、東京商工会議所墨田支部の阿部貴明会長にお話を聞きました。



阿部 貴明会長
(東京商工会議所墨田支部)

— 約2600の事業所会員を抱える東京商工会議所墨田支部のトップとして2013年から3期にわたり地域の経済界を統括する阿部会長。「トキーサイダー」で知られる創業100年超の老舗企業「丸源飲料工業株式会社」の代表者でもあり、ご自身も立花出身です。早速ですが、阿部会長にとって錦糸町はどのような街でしょうか?

阿部: 私が生まれ育った1960年代の立花周辺は吾嬭製鋼所、花王などの大規模工場から中小・小規模の町工場まで多くの人材を抱えるものづくりの町で、錦糸町はそこで働く大人たちが仕事を離れた憩いのために訪れる場所でした。子供のうちはあまり縁がなく、大人になってから会合などで「ロッテ会館」をよく利用しましたね。

— ロッテ会館は、2007年までロッテホテルの場所にあった建物ですね。

阿部: とにかくいろいろな施設が入っていてボーリング場や結婚式場、サウナや中華料理店もありました。

— 同じ墨田区内でも生活圏から距離のある地域として錦糸町をご覧になっていたのですか。

阿部: そうですね。1947年に



東京商工会議所墨田支部の会合。コロナ禍ではオンライン会議やリアルとのハイブリッド会議を実施している

本所区と向島区との合併で墨田区ができてから74年が経ち一体感が出てきていますが、いまだにそれぞれの地域性の違いを意識することはあります。特定の町内だけに残っている慣習などもありますし、錦糸町は東西移動の拠点として昔から人や物が動く交通の結節点でしたが、混在に寛容で新しいものを受け入れる土地柄が変わりませんね。悪くいえばぐちゃぐちゃ(笑)。昭和12年に楽天地が開業してから娯楽、レジャー関連のサービス業が集積し、その傾向はますます加速したと思います。

— 新しいものに寛容という特徴は、ビジネスの面にも影響していますか?

阿部: 墨田区は小規模ながらも100年を超す業歴の長い事業者が多いという特徴があります。商工会議所でも事業承継の支援を前向きに進め、近年は親族承継以外の選択肢により新しい顔ぶれも増えてきました。錦糸町周辺は外からの事業者も比較的受け入れやすい空気があるようです。一方で土地に根を生やして商売を続けている人も多く、長く住み続けてそのまま町を支える人材としても活躍しています。人形焼の「山田家」を営む墨田区商店街連合会の山田昇会長などもそうですね。このエリア的な職住一体は、専門性を持った分業の集積で産業が発展する地域でないと成立しないのですが、町が元気な状態であるためには大切です。次を担う世代でも仕事と生活が一体となつてうまく機能する事例が出てくることを願っています。

— これからの錦糸町に期待することはありますか。

阿部: 東京スカイツリー開業以降“新生すみだ”の玄関口としての発展がうまくいっていると思います。今後も住み続けたい、働き続けたい、訪れたいと思ってもらえる持続可能な街づくり=すみだのSDGsを続けていってほしいですね。
(2021年10月5日取材)



事業承継について早期の気づきを提供するために中小企業の経営者に向けて2018年に発行したマンガ冊子「社長/バンタッチノート」~思いを未来につなぐ事業承継~